

# 杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会  
2015年 4月 1日発行

**4月号** 向日市寺戸町辰巳4-1-101号  
**No. 50** 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>



## 「中学校給食の実現を求める 請願」を趣旨採択！



杉谷伸夫・60才  
向日市議会議員・市民クラブ  
上植野町イトピア在住

向日市議会の第1回定例会で、市民の方々から出された『向日市での中学校給食の実現を求める請願』が、全会一致で趣旨採択されました。

請願は、市民からの政策提案です。「小学校で実施されている給食と同じような学校給食」の実現を求めるもので、請願代表者から、栄養豊かで温かな給食を実施してほしいとの趣旨説明がありました。私は「中学校給食の実施は当然。やるからには子ども達が『おいしくない』『食べたくない』と言われるような中途半端なものではダメだ。『栄養豊かで温かな給食』の実現へ検討を進めるべきだ」と賛成意見を述べました。共産党議員からも賛成意見が述べられました。

一方、新政クラブの議員などから「請願の趣旨には賛成だが、方式については検討すべき」として、「小学校で実施している給食と同じような給食」という文言に異論が出されたため、「趣旨採択」となりました。

本請願を議会が全会一致で趣旨採択したことにより、本市でも中学校給食の実施が市民代表である議会の意思となりました。向日市教育委員会は、「手作り弁当が基本」という従来のかたくなな姿勢を改め、最近続々と実施されつつある周辺市町の実施例を調査し、中学生・保護者へのアンケート調査を行い、一刻も早く中学校給食の実施にむけた作業を進めるべきです。(3月29日・杉谷伸夫)

### 市民の皆さんの声

- 子どもがボール投げして遊ぶ公園や場所がほしい。公園はボール投げ禁止、学校の校庭は休みの日はたいていどこかが使っている。小学校の子が、道で自宅の壁に壁あてしているけど、その場所も危ない。
- 自宅から小さい子を連れて歩いて行ける範囲に公園がありません。ぜひ小さい子を安心して遊ばせることができる公園をお願いします。  
※昔は、大通り以外は子どもにとってすべて遊び場だったんですが、今は危なくて遊べませんね。

- 向日市は、市外から来られた方に対する案内がない。市民体育館ではプロバスケットボールチームの試合もあるのに、駅からの案内板もない。改善が必要では？

### 催しのお知らせ

★4月11日(土) 10時 向日市民会館(無料)

「杉谷さんとともにまちを創る会」

★5月6日(祝) 午後1時30分～4時

西谷文和さんの「戦火のシリア・イラク  
取材報告」 向日市民会館・300円



### 連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101  
メール [peace@fa2.so-net.ne.jp](mailto:peace@fa2.so-net.ne.jp) ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>

## 3月議会のトピックス

### 市政への提案を反映しない 一般会計予算に反対!

向日市の来年度一般会計予算に対して、私は反対討論を行いました。反対した理由は、市政の重要課題に対し、私たち市民クラブがこれまで指摘・提案・要請してきたことが、ほとんど反映されていないからです。

特に以下の点を指摘しました。

- ①公共下水道工事の2億円損失問題での隠蔽体質が市政全体に悪影響を及ぼしていることです。市長は公文書を勝手に廃棄した責任を取らず、結局誰も責任を負わず、何の改善もなされず、何事もなかったかのように市政が進められています。
- ②市民の願いである巡回バス事業が、阪急バスの一部路線変更で矮小化され、先送りされて

しまったことです。

- ③市政の重要施策の策定過程を公開し市民意見の反映を行うことや予算原案の公開などを求めてきましたが、全く無視されています。
- ④東向日イオンの5月閉鎖に対し、中心市街地の活性化施策がないことです。
- ⑤男女共同参画センター・市民活動センターの設置等、市民参画が放置されたままであり、市民の力を支援する施策が欠落していることです。



#### 補正予算にむけた意見

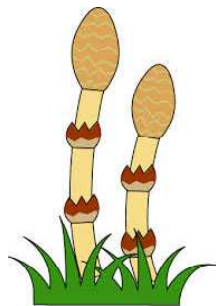
5月以降、新たな市長の下で補正予算が編成されることになるため、特に要望したいことを、以下3点述べました。

- ①市内巡回バスの検討に直ちに着手すること
- ②子育て支援医療費助成拡充など、子ども・子育て支援施策の充実を特に図ること
- ③京都西の観光推進事業の取り組み

## 議会論戦より

### 行政の審査基準は 隠さず市民に公表せよ

本市では保育所入所の審査基準が公表されていません。これは「向日市行政手続条例」に違反することを指摘しました。行政手続条例は、行政運営の公正の確保と透明性の向上をはかるために、審査基準を定めて公にしておかなければならない、と定めています。



#### 他市ではホームページで公開

例えば、京都市や大阪市では、保育所入所の審査基準は、「入園申し込み案内」に全部記載されており、さらにホームページで公開しています。これを向日市では保護者等に見せず、内部

資料扱いしてきました。こうした市民に対する隠蔽体質が、行政への不信を生むのです。この他にも、本来市民に公表すべき審査基準などを公表せず秘密にしている事例があるのではないかと、早急に調査し改善するよう求めました。

向日市の情報は、すべて市民のものであり、公開が原則です。「風通しのよい、市民に優しい市政」にしていきたいものです。

#### 集団的自衛権反対

#### 原発再稼働反対

### 国への意見書を可決

以下の3つの意見書案を私が共同提案者または賛同者となって提出していましたが、2つが可決採択、1つは残念ながら否決となりました。

- ◎集団的自衛権に関する閣議決定を撤回し、閣議決定に基づく法整備等を行わないことを求める意見書
- ◎高浜原発3・4号機の再稼働に反対する意見書
- ×労働者保護ルールの改悪に反対する意見書

# 杉谷伸夫の

## 議 会 報 告

3月議会での、市政に対する一般質問で明らかになったことをご報告します。

### 中学校給食

- ①向日市は、中学校給食を実施していませんが、国からの交付金には、中学生一人当たり約2万1千円の中学校給食事業費が計上されていることを、市は認めました。
- ②中学校給食は重要な子育て支援施策であることを訴え、教育委員会もそれを認めました。
- ③中学校給食について、近隣他市町の研究調査を行っているなど、これまでの「手作り弁当が基本」との木で鼻をくくったような答弁から少し変化してきたと感じます。中学校給食の実施は、もはや押し留めがたい流れであることを感じます。



### 市役所の防犯カメラ

#### 首をかしげる設置目的

今年になって、向日市役所の庁舎内17カ所に防犯カメラが設置されました。設置目的を質問したところ、宝塚市役所での窓口トラブルによる放火事件等から、来庁者や職員の安全を守るためとの説明。しかしこれらの事件は、防犯カメラを設置しても防止できない事件です。

当の宝塚市は放火事件の調査報告書で、行政に対する不当要求防止対策の条例化や、窓口での市民の声に応える体制と職員資質向上などを柱とする再発防止対策をまとめています。防犯カメラの設置は防止対策として疑問であり、トラブルを起こさない地道な体制作りが大切です。またカメラの管理運営をしっかりと行い、個人情報保護の徹底を求めました。

### バス新路線

阪急バス新路線は3月30日から1日4本

- ①現在の77号系統（長岡天神—長岡京—一文橋—菱川—国道171号線—JR向日町—東向日）の一部を、ゆめパレア、市民体育館、市民会館を通るルートに変更する新路線については、1日8往復のうち4往復が、3月30日から運行開始されます。
- ②これ以外の路線バスの新設・再編は、当面検討せず、これで様子を見るとの答弁でした。市の公共施設を通るのは良いのですが、この程度では市民の求めに応えるものとはほど遠いです。路線バスのルート変更は、市内巡回バスの代わりになるものではないのです。

### 自転車事故 防止について

京都府では自転車事故が増えています。向日市では平成16年をピークに減少傾向で、昨年は事故件数233件中43件、18%とのことでした。事故の際に高額な賠償責任が生じる一方保険加入率が低いことから、加害者も被害者も救済するために「自転車保険の加入義務化」を含む自転車安全条例の制定を提案しました。市からは、京都府に検討をお願いするとの答弁でした。「自転車保険の加入義務化」については、その後兵庫県で条例が制定されるなど、大きな動きがありました（下段記事参照）。

### 注目

#### 兵庫県が、安価な自転車保険を開発し加入を義務化

兵庫県は全国で初めて、自転車事故に備える保険への加入を自転車利用者に義務付ける「自転車安全利用条例案」を制定しました。ただし保険に未加入でも罰則は課されません。

保険はA、B、Cの3プランがあり、最も安いAプランでは、年間保険料1000円で損害賠償の補償額5千万円。同居の親族も対象。B、Cプランでは、補償額1億円で本人・家族への傷害補償が付く。京都でも、こうした安い保険を普及させ事故防止の啓発と犠牲者救済を進めるべきだと思います。



# 「八紘一字」の 発言にびっくり

安野 洋子

戦後70年の今年は、何か歴史の曲り年に来ていると感じる。

仏文学者の海老坂武さんの「戦争思想の構築」という講演を聞いて、敗戦から立ち上がり民主主義を築き上げた人々の戦後の思想の崇高な思いを再確認し、憲法9条の下で平和を築き上げてきた日本の歩みの大切さを再確認した。

丁度その時、テレビで国会中継を見ていたら「八紘一字」という言葉が飛び出してびっくりした。タレントから参議院議員になった三原じゅん子が「建国以来大切にしてきた日本の思想」を推し進めるべきだと安倍首相に提案していた。安倍首相

も批判しなかったのが又びっくり。

戦後生まれは何も知らないのか。戦争を知っている世代は「八紘一字」と言うと、にがにがしい戦中を思い出す。この言葉は軍国主義の象徴として使われてきたのだ。その思想の下で日本は侵略戦争をして、近隣の国々を苦しめ多くの人を殺害したのである。

彼女が無知なのか、言わされているのか、いずれにしてもヤンキー女優上がりの三原じゅん子に言わせているのではと、黒幕の恐ろしさを感じる。

過去の歴史をしっかりと学ばないと未来は開けないと言われたのに、このおそまつな現実背筋が寒くなった。現代史を教えない日本の歴史教育の問題がそこにある。

## 安倍政権暴言集・・・本音がポロリ

麻生太郎「ナチスの手口に学べ」(2013年7月29日)

石破茂「戦争するにあたって」(2014年12月26日)

三原じゅん子「八紘一字」(2015年3月16日)

安倍晋三「我が軍」(2015年3月20日)

# 「高浜原発再稼働反対」 の意見書採択に思う

鶏冠井町 徳本茂孝

向日市3月議会で、高浜原発3,4号機の再稼働に反対する意見書が採択された。向日市域は、この原発から60数キロにあり、市民にとって不安となっている。「原発は安全で

はなかった」—これがフクシマの教訓であり、世界の国々も学んだことだ。事故から4年がたち、原発の電力無しで1年半も安定した電力で暮らしてきた。省電力社会へと着実に歩んでいる。今更原発に依存するなんて、とんでもない話である。生命や暮らしを守る地域社会を、「原発は安価な電力」の言葉に騙されて、丸ごと奪われてはたまらない。今回の意見書採択は、市民の声に応えたタイムリーなものとして評価したい。



# 声

## 沖縄の基地工事強行 これが民主主義か？

沖縄の米軍普天間基地の辺野古への移設を巡り、異常な事態が続いている。辺野古への移設工事の中止を求める沖縄県民の世論に反し、県知事の中止命令にも従わず、安倍政権が工事のためのポーリング調査を強行している。工事に反対する県民を暴力的に排除し、多数のけが人も出ている。

沖縄では、昨年4度の選挙で基地推進派が全て敗北し、沖縄県民は辺野古新基地建設に「ノー」の明確な民意を示した。安倍政権首脳は、県民を代表して上京した翁長県知事との面会を拒否し、話し合いを拒絶し、工事を強行する構えだが、これは民主主義ではない。

在日米軍基地の大半(74%)を沖縄に押しつけ続けている現実を、私たち本土の人間は考え直す時だと思う。

(杉谷 伸夫)